

ダンブカーを持ち上げられますか？

18歳の頃の話です。社長になることを夢見て通っていた勉強会で印象的だったのが「固定観念の打破」に関するものでした。リーダーの経験が乏しかった私は非常に衝撃を受けたことを覚えています。個人における固定観念の打破だけではなく、人の上に立つ人の考え方の違いについてお話ししたいと思います。



あ

るとき、先輩メンバーから、

「室館さん、ダンブカーを持ち上げられますか？」と質問をされました。

私は即答で「無理です」と答えました。

先「では、100人の仲間がいたらどうでしょうか、上がりますか？」

室「上がるかもしれませんが難しいです」

先「では、ダンブカーの3倍はある大型のクレールン車があればどうでしょうか？」

室「きつと上がります」

先「さらに1カ月という時間をあげます」

室「何度でも、確実に上がります」

先「室館さん、あなたは30秒前に何と答えましたか？」

室「無理です、と答えました」

というやり取りがありました。つまり、多くの人は、過去の固定観念から無意識に

「できない」と決めつけ、できない条件を設定してしまうのです。この話であれば、

①1人で、②1つの方法で、③今すぐに行けるかを考えていました。ダンブカーを、

1人で、道具を使わずに素手で、今すぐに持ち上げようと考えたから無理だと答えた

人

生や仕事で目標を設定するとき、自分一人で行うとすると、とてもスケールの小さな目標になってしまいます。それではせっかくの目標でもワクワクせず、一体何のための目標なんだとなります。

よりスケールの大きな目標を設定し、達成したいと考えるなら、①多くの協力者を集める能力が必要です。リーダーとして魅力、能力などの人間力があるほど、より多くの協力者を集めることができます。そして、②目標達成のための様々なアプローチ方法を知っていれば、その中の最善策で目標達成ができます。アイデア豊富なリーダーもいれば、アイデア豊富な協力者がいる場合もあります。アイデアは誰が持っているかが重要ではなく、それを引き出すことができます。③たとえどれだけ大きなクレールン車があったとしても、時

間が1秒しかなければエンジンすらかけられません。時間の設定も非常に大切なことです。自分や協力者の、集中力や実力を高めることで時間短縮はできるものですが、事故の無い、ムリの無い時間設定をしたいですね。たとえ1年ではできなそうなことでも、5年、10年という時間をかければ、できることは本当に多いものです。特に若者は人生において、まだまだ多くの時間があります。今よりさらに魅力や能力を高めれば、よりスケールの大きな目標を立てられ、多くの協力者とたくさんのアプローチ方法で、目標達成率も高まるのです。

スケールの大きい目標を達成できるリーダーは、会社だけではなく、地域のコミュニティをはじめとした社会全体で求められています。

ダンブカーですら、①人数、②方法、③時間を考えれば持ち上げるのです。物事に直面したときにはぜひ「できない」ではなく「できる」方向から考えてみてはいかがでしょうか。人数、方法、時間によって、多くの目標は達成できるものです。

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室館 勲
Murodate Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。2007年ブータン王国立マネジメント大学にて講演。全国社内木鶏経営者会 副会長。日台文化交流青少年スカラシップ 審査員。ミス・ワールド・ジャパン2019 審査員。著書に『夢を見て 夢を叶えて 夢になる』(致知出版社)、『まずは上司を勝たせない』(講談社)、『応援される人』になりなさい』(ワック)がある。